

4

茨城県の道路整備状況

H18年度の県民協働による取り組み

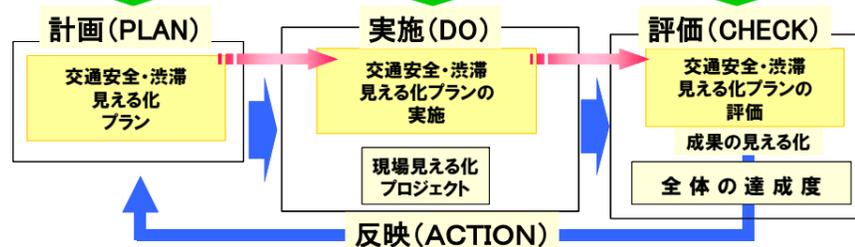
道路見える化計画

取り組み概要

- ムダな道路を整備しているという批判の中、納税者の理解を得ながら、真に必要な箇所を整備するため、優先順位の高い箇所を「見える」ようにする取り組みで、昨年度よりスタートしました。
- 見える化とは、課題を「見える」ようにし、最適なやり方で重点的に解決することです。
- 『道路見える化計画』では、課題のデータやそれに基づいた解決策とその結果を、道路利用者、納税者の皆さんに「見える化」し、効率的な道路行政を進める計画です。

道路見える化計画

課題が見える・やり方が変わる



安全見える化プラン

県民の意見を踏まえ「茨城県道路安全性向上プロジェクト委員会」において選定された、交通事故が多いなど、走行安全性に不安のある箇所について、今後対策を実施していきます。

●安全見える化プラン対象箇所
●渋滞見える化プラン対象箇所

渋滞見える化プラン

県民の意見を踏まえ「茨城県道路移動性(モビリティ)向上委員会」において選定された、渋滞が多いなど、円滑な移動が阻害されている箇所について、今後対策を実施していきます。

現場見える化プロジェクト

現状の工事看板は、工事内容を主体とした表現のため何のための工事かわかりにくいものとなっています。

今後、「現場見える化プロジェクト」では、事業目的を主体とした表現に改善する等により、道路ユーザーにわかりやすく、工事目的を正しく理解いただける現場を目指します。



新しい路上工事看板

水戸都市圏渋滞対策委員会(仮称)

取り組み概要

- 水戸都市圏では、水戸勝田環状道路をはじめとして各種道路整備を推進していますが、依然として交通混雑は劣悪な状態で、渋滞損失時間も高い数値となっています。
- このような状況を踏まえ、今年度より、水戸都市圏の渋滞解消に向けて、ハード施策だけでなくソフト施策も重視した渋滞対策を検討する委員会を立ち上げます。
- 委員会では、地域の方々の意見を伺い、より効果の高い施策を抽出していく予定です。

多様な立場の人から構成される委員会

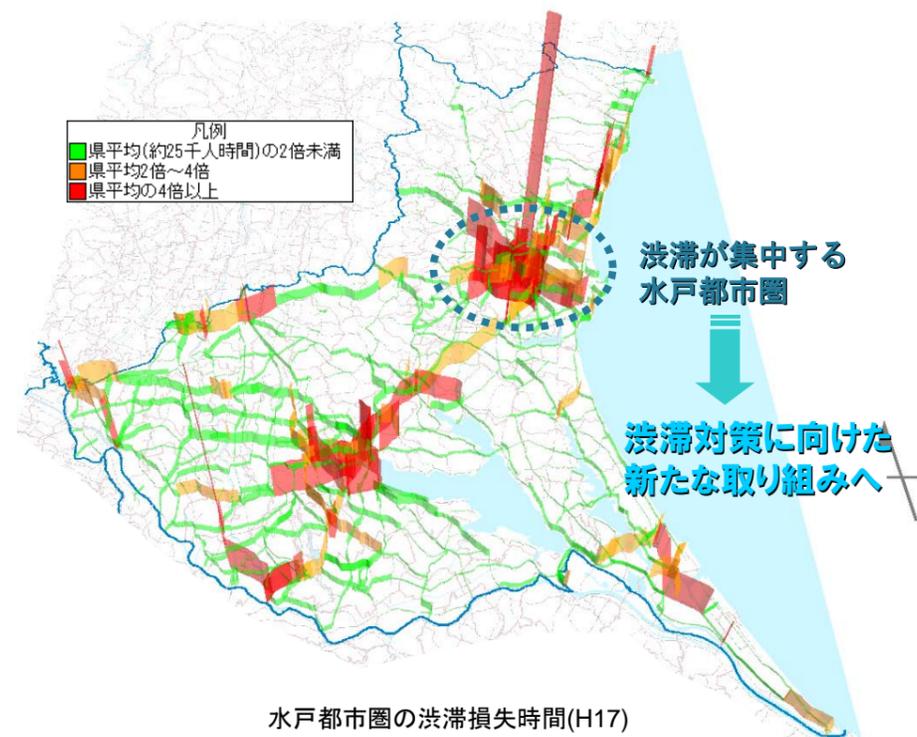


想定されるハード施策

- 短期に実行可能な小規模交差点改良 (右折車線の設置・延長)
- 区間線や導流路の見直し など

想定されるソフト施策

- 公共交通の利用促進
- 自転車・歩行通勤の促進
- 時差通勤の促進
- 有料道路の料金割引による利用促進 など



水戸都市圏の渋滞損失時間(H17)